

第17回高知市街路市活性化推進委員会 議事録（概要）

日 時：令和6年12月9日（月） 13：30～15：30

場 所：高知市役所第二庁舎 311 会議室

出席委員：廣末委員長，中澤副委員長，小田委員，鎌倉委員，新開委員，畠中委員，平井委員，
福田委員，藤本委員

事務局：高知市商業振興・外商支援課

議題①：現構想の最終報告について

議題②：各種調査等の結果報告について

議題③：次期街路市活性化構想（案）について

議題④：今後の予定

1. 議題①現構想の最終報告，議題②各種調査等の結果報告について

・資料1 出店者アンケート p19 インバウンド観光客への「売上げへの影響がある」は，売上げが上ったのか下がったのか，どちらか？（委員）

⇒売上げの上下についてはアンケートでは把握していないが，日々の見回り時に出店者から聞く話では，「外国人による購入は少ない」という意見を聞く。一方で，一部果物や工芸品など商品によっては売れているものもあるようだ。（事務局）

・出店者アンケートの結果は納得感がある。（委員）

・地元の方は野菜などを買う，観光客はすぐ食べられる果物などを買うため比率が変わってくるのではないか。（委員）

・商品によってはクルーズ船には持ち込めない，という話も聞いた（委員）

・資料2 概要版 p1 現構想の評価における指標の令和6年度実績値は決定した数値か。また，資料1 p5 まとめの「実現可能な目標値」という言い回しは消極的な印象を受ける。「実情に合った」という表現の方がベターではないか。（委員）

⇒令和6年度は関連するすべての調査が終わったため確定値となっている。資料2 p5の表現についてはおっしゃる通り。（事務局）

・出店者の業種によってアンケート回答を分析することは可能か。閉店が早いのは農産物を扱う店が多く，雑貨や加工品などを扱う店は一定の時間まで開けている印象。業種による違いがあれば教えてほしい。（委員）

⇒今回のアンケートでは分析できないが，通常市を巡回しているとそのような傾向がみられる。農産物は不作による品薄などが影響していると思われる。（事務局）

・資料2 概要版 p6 の指標3 の算出根拠と平成26年度は同じ計算方法か。また資料1 p17 の出店者アンケートで販売手段は「その他」が最多であるが，具体的に分かれば教えてほしい。（副委員長）

⇒資料2 p6 の算出根拠の計算方法は平成26年度と同じ。資料1 p17 の「その他」内訳は，直売所・サービスエリア・空港などがあがっている。（事務局）

2. 議題③次期街路市活性化構想（案）について

- ・資料2 概要版p4について、観光客・インバウンドの目標数値は取っているか。観光誘致を考える上で入込数は重要なので、明確な数値を出しておく方がよいと考える。自分は2月まで県外にいたが、日曜市のことは知らなかった。これまで以上に認知度を高める必要がある。旅行会社に向けて商談会へ参加するなどのプロモーションを行えば盛り上がるのではないか。（委員）
⇒観光客・インバウンドの数値は通行量調査と各アンケート調査から割り出すこととしている。（事務局）
- ・前回委員会時に意見したが、地元の人が集まり、地元の日常を感じられるところへ観光客が行くということを再度共有しておきたい。
構想の考え方・基本理念としては、地元の方が行く場所、あくまでも「生活市」に軸足を置くことが重要。利便性の向上は進めていくが、観光をメインにしてしまうと逆に観光客が減るおそれもある。（委員）
- ・資料3 構想案p19 基本理念では、「街路市は生活市を念頭に」という文言が記してある。時代の流れに応じて増加している観光客への対応も必要、ということではないか。（委員長）
- ・過去の構想では生活市を丸ごと観光資源とするという形になっていた。2元論的になってしまうと本来の姿を失ってしまう。（委員）
⇒基本理念図は生活市の側面と観光の側面を並列して書いているが、生活市を念頭にしている所は基本中の基本だと考えている。観光客を受け入れるための利便性の確保や情報発信などは整備していきたいが、観光客向けの商品を生ろうということではない。（事務局）
- ・日曜市はまさに地元の「光」であり「宝物」。外向けにPRする際に「日曜市は生活市」ということをしっかりアピールできれば良いと思う。地域おこし協力隊の任用もあるので、県外・海外の方も使えるようなツール使って、しっかり伝えて頂きたい。（委員）
- ・JA高知市一宮の支所で土曜市をやっている。一宮は徳谷トマトの産地。県内外からお客さんが日曜市のトマトは高いからと自ら販売場所を調べて来ている。（委員）
- ・地元利用者が購入するような日々の生活用のお店は安価だが、観光客向けに贈答品のようなレベルの高いものを売るお店は高いと思う。高いが味は間違いなくおいしい。（委員）
- ・私達も県外に勉強会に行くが、その際も日曜市を知らない方が多い。知っている方も朝市と認識されていた。（委員）
- ・これまでの議論で「生活市」が軸であり重要というのは共通認識かと思う。出店されている方にとって「売れる物を置く」というのは売上げも上がるし、観光客のニーズがあれば当然売りたい。しかし構想では、生活市としての魅力を高めていくことで結果的にハッピーになれるという形にしている。その辺りを出店者はどう思っているのか。そこを皆で共有できればよいと考える。
その点、先日開催された座談会は出店者とお客様が直接話をする機会となったのがよかった。出店者とのコミュニケーションを含めて買い物を楽しむお客様は、消費者としてレベルが高い。
各取組みとは別に、座談会のように、皆の意見を聴いていい案が出てきた時は柔軟にやれるような仕組みがあった方がよいと思う。座談会は一度と言わず今後も開催してみてもどうか。（副委員長）
- ・他の曜市については、記載が少ないがどのように考えているか（副委員長）

⇒各曜日向けの策は考えているが、柔軟に対応できるよう取組みを具体的に記していない。フォローアップも年2回とし、その都度話し合い、取組みを実施できるよう考えている。(事務局)

・座談会は若い方から特に評判がよかった。日曜日ガイドマップの製作者から座談会の次回参加を打診されている。(委員)

・日曜日ガイドマップは生活市として暮らしの中の日曜市をしっかりと描けていて販売数も伸びている。ブレずに「生活市」の側面を出していったら若い人が食いつく要素が十分あると思う。(委員)

・新しい出店者が増えていることはうれしく思うが、従来型のテントは一人での設営は大変。エリア的に問題ない所はワンタッチテントを使用してもよいのか。また、事務局で行っている貸しテントはどのようなものか教えてほしい。(委員)

⇒これまで通り6丁目以外は従来型テントを基本に使用いただいている。貸しテントは従来型を2つ用意して使われている。(事務局)

・資料2 概要版p6 指標の出店登録数目標は400で、日曜市の番地パンフレットを見ると644の小間がある。

空きが多い状況は変わらないのでは。番地の入れ替えなどはできないものか。(委員)

⇒644の数は欠番なども含むので、全体の小間数ではない。出店登録はしているが、事情があって出店できない方もおり、それが空き小間が目立つ理由の一つではある。(事務局)

・基本理念について「高知を味わう」という言葉は、食べ物を指すようにイメージしてしまう。もっと広い意味合いでとれる適切な表現はないか。(委員)

⇒食も含め、高知全体・街路市文化も含めて味わうと表現している。(事務局)

・高知の街路市は脈々と続いてきた歴史がある。この委員会と行政、出店者、利用者など皆でやってきた。時代が変わってきて難しい部分はあるが、地元のための生活市・観光客も喜んでくれるような市としてなんとか守っていけるようにしなければいけない。(委員長)

・構想本編に、ホテル等との連携があるので我々も考えておく必要があるということだと理解している。旅行業関係との連携も同様。出店者同士の勉強会なども含まれるのではないか。(委員)

・出店者同士の横のつながりを育む場を普段から持てればよいと思う。(委員長)

・基本理念の概念図について、構成要素は良いが生活市の位置づけが委員会の理念と一致するような形に整えてもらいたい。(副委員長)

・概要版の指標・出店登録者数の部分で、増加分のみを注目してもよいのでは。地元利用者数はどのような割合が適当なのか。(委員)

⇒非常に悩ましい点。観光客が増えるのが悪いということではないので難しい。(事務局)

・前の計画では、高知市の街路市から高知県の街路市にしようというものがあったが、その辺は今回見当たらないがどうなっているのか。(委員)

・高知市在住者が目標30%だと少ないように思うし、数字が外にでた時「日曜市は観光客向け」というイメージになってしまう恐れがある。対象を高知県内まで広げてはどうか。(委員)

⇒県内を地元としてカウントしても 30%を切る割合。実情に合う範囲で表現を検討する。（事務局）

- ・出店者が少ないと市の魅力はどうしても欠ける。新規出店者を増やすのも大事だが、50年以上出店しているお店が多いので、既存のお店の歴史を評価するような仕組みがあればよい。宿泊業界でいうと●●アワードのようなイメージ。レジェンド店舗のような形で店の歴史に価値を持たせては。（委員）

⇒情報発信の中で動画製作を検討している。その際に歴史ある店舗や新規店舗などを併せて紹介する予定。（事務局）

- ・ここまで十分議論いただいたが、構想案については、一部改善案も出たが概ねこの内容で進めてよろしいか。（委員長）

⇒異議なし（各委員）